

整理番号：1－1

提言題名：小貝川ポニー牧場について

【提言要旨】

小貝川ポニー牧場が来年度からなくなってしまうかもしれないとお聞きしました。

ポニー牧場には子供が昨年まで4年間通わせていただいていたいました。

地元の学校以外で親しい仲間ができ、スタッフの方達とも仲良くなり、土曜日の午後は馬房掃除や、馬の世話、乗馬、外遊び、や水遊び、川遊び、野球、カヤック、バーベキュー、夏の合宿など、沢山の思い出を作っていました。子供達同士で教えあったり、上の子は下の子の面倒を見たり、かけがえのない時間を過ごさせていただきました。

市外からもたくさん参加されており、また、近隣の子育て世代の親御さんは子供と一緒に公園や牧場に訪れてポニーと触れ合ったり、引き馬に乗ったりと、子供達にとってはなくてはならない唯一無二の場所であると思います。また、下の子は久賀保育所に通っておりますが、お散歩でポニー牧場、公園をよく訪れています。中央保育所や共生保育園も同じようにお散歩で行っているかと思えます。ポニー達に草をあげたり一緒に写真を撮ったりしています。これからは沢山の親子がポニー牧場を訪れることと思えます。小さな頃に訪れたことがある子供が大きくなり、大人になり、また自分の子供を連れてくる方たちもいらっしゃるでしょう。そんな長く続いている小貝川ポニー牧場を終わらせてしまうのは、取手市（藤代町）にとって大きな損失になると思います。子ども真ん中政策をすすめる取手市であれば、

この場所をなくしてしまうことは非常にもったいない事であり、子を持つ親としてはなくしてほしくない場所です。

どうか、来年度以降も存続できるよう、ハーモニセンターの方達とも前向きに協議を進めていただきたいと思います。何卒よろしく願いいたします。近隣の方達もまだ何も知らない方が大勢いらっしゃると思います。

(令和7年6月受付)

【回答要旨】

小貝川ポニー牧場につきまして、当初は介護予防を目的として高齢福祉課において運営の円滑な実施に資するため、公益財団法人ハーモニセンターに対して補助金を交付してきています。そのため、当課から回答をさせていただきます。

これまで事業の継続等について財団側と協議を重ねておりましたが、諸般の事情により、今年度いっぱいでの事業終了に向けて協議をしているところであ

ります。

しかしながら、●様からのご意見を含め、小貝川ポニー牧場に関する様々なご意見が当市に寄せられております。今後の財団側との協議の際に先方へお伝えさせていただき、頂いたご意見は共有してまいります。

(高齢福祉課 令和7年7月回答)

上記回答は、提言をいただいた当時のものです。

その後の対応状況を追記いたします。

【その後の対応状況】

小貝川三次元プロジェクトは、馬房や生き生きクラブが、設置から20年以上が経過し老朽化が進む中、事業を実施していただいているハーモニーセンターにおいても立地などの関係から事業規模拡大することができず、市からの補助金や委託料をもってしても毎年赤字運営となっています。ハーモニーセンターとは数年前から今後の在り方について協議をかさねてきましたが、建物の補修、改修が困難であること、また採算性の改善が見込めないことなどの理由により今年度をもって事業を終了するとの結論にいたりしました。

今年度をもって事業を終了とさせていただきますが、今後につきましては、多くの皆様のお声やご意見を真摯に受け止め、市としてどのようなことができるかについては、庁内全体でしっかりと協議・検討していきたいと考えております。

●小貝川三次元プロジェクトについては高齢福祉課まで

●事業終了後については政策推進課まで

(高齢福祉課 令和7年10月 追記)